

第2回慢性期リハビリテーション学会 in 横浜

人に近づいた医療へ

・プログラム・

日時：平成27年3月14・15日（土・日）

会場：パシフィコ横浜 会議センター 3階（神奈川県横浜市）

学会長：橋本康子（慢性期リハビリテーション協会副会長）

実行委員長：吉尾雅春（千里リハビリテーション病院 副院長）

学会ホームページ：<http://gakkai.co.jp/manseikiriha2/>

企画：慢性期リハビリテーション協会

主催：日本慢性期医療協会

【開会式】

3月14日（土） 13：00～13：30（30分）

会場：パシフィコ横浜 3階

【記念講演】

テーマ：国民の幸せに寄与する医療を目指して

～わが国の医療を取り巻く現状と課題～

3月14日（土） 13：30～14：20（50分）

座長	木戸保秀（慢性期リハビリテーション協会 副会長）
----	--------------------------

講師	宮寄雅則（厚生労働省保険局医療課長）
----	--------------------

【シンポジウム1】

テーマ：慢性期リハビリテーションの展望

3月14日（土）14：30～16：40（130分）

慢性期リハビリテーション協会では2013年7月の設立以来、武久洋三会長を中心に、慢性期リハビリの重要性や現状の体制のあり方への疑義を継続して訴えてきました。本シンポジウムでは厚生労働省老健局老人保健課より迫井正深課長をお招きし、平成27年介護報酬改定からみた慢性期リハビリの今後の方向性についてご講演いただきます。武久会長による今後の慢性期リハビリへの提言や将来の見通しについての提言等、橋本康子学会長の座長のもと、慢性期リハビリのこれからをともに考える内容のシンポジウムにしたいと思います。

座長：橋本康子（第2回慢性期リハビリテーション学会学会長）

学会長講演

「慢性期リハビリテーションの展望」

橋本康子（第2回慢性期リハビリテーション学会学会長）

基調講演

「新しいリハビリテーションが始まる」

武久洋三（慢性期リハビリテーション協会会長）

特別講演

「今後の高齢者・生活期リハビリテーションのあり方を踏まえた介護報酬改定での対応」

迫井正深（厚生労働省老健局老人保健課長）

【シンポジウム2】

テーマ：地域包括ケアを支えるリハビリテーション

3月14日（土）16：50～18：30（100分）

医療機関や介護施設のこれからを考えるにあたり、地域包括ケアシステムのあり方について考えることを避けることはできません。患者を自宅へ帰す流れが本格化していく中、リハビリは退院後のスムーズな在宅生活をサポートするため、その重要性をいっそう増していくこととなります。本シンポジウムでは、地域包括ケア病棟協会仲井培雄会長を座長に、日本理学療法士協会半田一登会長、日本作業療法士協会中村春基会長、日本言語聴覚士協会内山量史副会長、永生病院の野本達哉医師と、多岐にわたる職種からそれぞれを代表する立場の演者を迎えています。地域の暮らしとリハビリの関係を見つめ、地域包括ケアシステムにおけるリハビリが、地域における暮らしの中で今後どのような役割を果たしていくのか、それぞれの立場から提言していただきます。

座長	仲井培雄（地域包括ケア病棟協会会長）
----	--------------------

シンポジスト	半田一登（日本理学療法士協会会長）
--------	-------------------

中村春基（日本作業療法士協会会長）

内山量史（日本言語聴覚士協会副会長）

野本達哉（医療法人社団永生会永生病院

TQM センター長 医療技術部長）

【シンポジウム3】

テーマ：食を支えるリハビリテーション

3月15日（日）9：00～10：40（100分）

本シンポジウムでは、生きていくうえでかかせない「食」の側面からリハビリをクローズアップします。嚥下リハビリに携わる博愛記念病院の太田智樹言語聴覚士、湯布院病院木本ちはる看護師、入院患者・在宅療養者の口腔ケアに力を入れる陵北病院の阪口英夫歯科診療部長、福岡クリニック在宅部にて在宅における栄養指導に取り組んでおられる中村育子管理栄養士からご講演いただきます。それぞれの職種の立場から「食を支えるリハビリテーション」という観点で、多様なお話を聞かせてもらえることでしょうか。座長には、リハビリテーション栄養を専門とされ、PT、OT、ST 向けの栄養学の著作を数多くお持ちの、横浜市立大学附属市民総合医療センターの若林秀隆医師をお招きしております。職種をこえた活発な議論が期待されます。

座長 若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センター
リハビリテーション科医師）

シンポジスト 太田智樹（博愛記念病院 言語聴覚士）
木本ちはる（湯布院厚生年金病院 看護師）
阪口英夫（医療法人社団永寿会陵北病院
歯科診療部長）
中村育子（医療法人社団福寿会
福岡クリニック在宅部 管理栄養士）

【シンポジウム4】

テーマ：精神と心のリハビリテーション

3月15日（日）10：50～12：30（100分）

本シンポジウムでは、高次脳機能障害、認知症、発達障害といった内容に焦点を当て、千里リハビリテーション病院の森涼子作業療法士から小脳性認知情動症候群（CCAS）について、順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院の高野ルミ看護師からは、認知症患者のケアについて講演をしていただきます。甲府城南病院の中村晴江言語聴覚士からは、言語障害をはじめとする高次脳機能障害をもつ患者に対するリハビリテーションについて、本テーマに焦点を当ててお話しいただきます。職種も分野も多岐にわたる本シンポジウムにおいてはリハビリテーション医学を専門とする札幌西円山病院の横串算敏副院長が座長をつとめ、それぞれの演者が自分の分野でどのような思いを持ちながらリハビリにのぞんでいるのかを知ることができると考えております。聴講者にとって多くの学びとなることを期待しています。

座長 横串算敏（札幌西円山病院副院長）

シンポジスト 森涼子（千里リハビリテーション病院

作業療法士）

高野ルミ（順天堂大学医学部附属

順天堂越谷病院 看護師）

中村晴江（甲府城南病院 言語聴覚士）

【特別講演】

テーマ：Vision を持って生きる

—あきらめない生き方—

3月15日（日） 13：30～14：40（70分）

座長 江澤和彦（慢性期リハビリテーション協会副会長）

講師 安藤忠雄（建築家）

本学会テーマ「人に近づいた医療へ」と関連し、安藤忠雄先生が取り組んでいらっしゃる都市整備、街づくり等の考え方を、高齢者や障害者に配慮したグローバルデザインも含めてお話しいただけることと期待されます。

【シンポジウム5】

テーマ：生活の中の歩行支援

3月15日（日）15：10～16：50（100分）

歩くことにサポートが必要な患者にどのように寄りそうか、3名の演者に、それぞれの専門の立場からお話しいただきます。2014年9月に発売となったばかりの無動力歩行支援機 ACSIVE（アクシブ）についての講演では、歩行のサポート用具のあり方について新たな可能性を見せてくれることと思います。

座長	酒向正春	（世田谷記念病院副院長 回復期リハビリテーションセンター長）
----	------	-----------------------------------

シンポジスト	増田知子	（千里リハビリテーション病院 理学療法士）
	小笠原尚和	（世田谷記念病院 理学療法部門課長）

佐野明人（名古屋工業大学教授）

【閉会式】

3月15日（日）16：50～17：00（10分）

会場：パシフィコ横浜 3階